

高山市平和都市宣言検討会議経過報告

市では、世界の恒久平和の実現に向け、市民のみなさんの平和への思いが込められた宣言文をつくりあげ、世界に向けて発信することとしています。宣言文は、人権、平和、教育、観光、国際交流、まちづくりなどの多様な分野、幅広い年代層の市民からなる「高山市平和都市宣言検討会議」において検討されています。検討会議は、昨年9月に第1回を開催し、これまで7回開催されました。文案が完成次第、市民のみなさんにご意見をお伺いすることにしています。市民総意の宣言となるようご協力をお願いします。



問合せ先 市民活動推進課 ☎35-3412
 広報ID 1006968

検討の主な内容

市民のみなさんから頂戴した意見や「高山市平和サミット」の結果をもとに、検討が進められています。詳細は、市HPで公開していますので、是非ご覧ください。

■どのような宣言文にするのか

- 全市民が主人公となって、平和への取り組みを進めていく動機づけとなる
- 市外に向けて、高山市民の平和への思いを発信できる
- 自然や伝統文化、人と人との絆、国際観光都市といった高山市の個性を表わす
- 「高山市民憲章」や「高山市の歌」、「高山市平和の日」の精神にもとづいている
- 未来を担う子どもを含む誰にでも伝わる文章、適度な分量など

■平和のために何をすべきか

- 戦争（原爆被害を含む）について学び、平和の大切さを次世代につなぐ
- 素晴らしい郷土の継承
- 国際交流（異文化の受容）の推進、観光客のおもてなし
- 発展途上国等の産業振興、貧困対策、教育の充実への寄与など

経過

■第1回

國島市長より、「市民の思いが込められた、市民が総意で平和を守り、平和の願いを世界に広げていく宣言文にしていきたい」と挨拶があり、委員に委嘱状が交付されました。

■第2回

中学生と戦争体験者からお話を伺いました。中学生からは「何か一つ自分が平和のために努力できることをしていきたい」、戦争体験者からは「命を大切にしてほしい」と話がありました。

■第3回

宣言に向けて募集した市民意見（7,935件）と、昨年10月に広島市長、長崎市長をお招きして開催した「高山市平和サミット」の結果報告を行いました。

（市民意見の報告）

- 平和を感じる時は、「普段の日常」が48%
- 世界の平和を実現するためには、「交流・相互理解・尊重」が36%

（高山市平和サミットの報告）

- お互いの違いを受容して、対話することが大切（松井広島市長）
- 次世代に記憶をつないでいくことが大切（田上長崎市長）
- 平和は、自分達がつくっていくという思いが必要（國島市長）

■第4回～

文章の検討、作成を進めています。

委員（敬称略）

会長	黒木 正之	（高山市社会教育委員会議）
副会長	元仲 しのぶ	（高山人権擁護委員協議会）
	小林 伸子	（高山ユネスコ協会）
	高桑 眞佐子	（国際ソロプチミスト高山）
	岡田 悦子	（高山市教育委員会）
	滝村 一彦	（飛騨地区高等学校長会）
	谷口 律生	（高山市小中学校長会）
	池田 光彦	（高山市PTA連合会）
	谷口 津弥子	（高山市民憲章推進協議会）
	小林 浩	（高山市遺族会連合会）
	銅島 大行	（高山市文化協会）
	堀 泰則	（飛騨高山国際誘客協議会）
	中澤 澄夫	（高山市観光連絡協議会）
	住奥 久隆	（飛騨高山国際協会）
	伊藤 文子	（高山市民生児童委員協議会）
	平塚 光明	（まちづくり協議会円卓会議）
	糠塚 良一	（高山市連合長寿会）
	坂本 智樹	（高山商工会議所青年部会）
	生田 チサト	（公募）
	松原 滋	（公募）
	西田 純一	（市企画管理部長）
	丸山 永	（市民活動部長）

市役所の各窓口 受付時間を延長します

住所異動などが多くなるこの
 時季、市役所の本庁では、転入・
 転出等に関係する窓口業務の受
 付時間を延長します。

期間 3月29日(火)～4月4日(月)
 時間 平日の午後7時まで

（4月2日(土)・3日(日)は午前
 9時～午後4時）

開設窓口と受付業務

▼市民課（☎35-3496）

転入・転出手続き、証明書の交
 付請求、国民健康保険・後期高
 齢者医療・国民年金の加入や
 喪失手続き ほか

▼税務課（☎35-3136）

税関係証明書の交付請求、原
 動機付自転車の新規登録・名
 義変更・廃車手続き

▼福祉課（☎35-3356）

福祉医療の手続き

▼子育て支援課（☎35-3140）

児童手当・児童扶養手当の手
 続き

● 市民課では、通常の窓口延長
 業務もあわせて実施します。

● 他機関への確認が必要な場合
 や、転入・転出に関係ない業務
 は取り扱いきれない場合があ
 ります。

● 支所では実施していません。